

平成 29 年 11 月 20 日

教育学研究科 学校教育臨床専攻修了生の皆様へ

愛知教育大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻では、公認心理師の受験資格の特例措置に基づき、2000 年度（平成 12 年度）以降に本専攻に入学され、2016 年度（平成 28 年度）までに本専攻を修了された方に対し、読み替え対応表を作成いたしました。

受験資格の特例「Dルート」での受験を希望される方は、ご自身で成績証明書を手の上、履修された単位の読み替え確認を行ってください。なお、各個人の履修された科目と公認心理師科目との読み替えについて、本学で確認して通知することや、公認心理師試験の受験資格の有無について本学で判断することはありません。各自の責任で確認していただきますようお願いいたします。

注 1 読み替え対応表は、平成 12 年度以降に学校教育臨床専攻に入学し修了した方を対象としております。それ以前の専攻の修了生につきましては現在、検討中です。

注 2 この度掲示しました読み替え対応表は、確定版ではありません。追加等がございましたら、情報を追加することがあります。

注 3 2017 年 11 月 15 日、一般財団法人日本心理研修センターHPに「大学院用の公認心理師試験「修了証明書・科目履修証明書」様式（「公認心理師になるために必要な科目」への読替えのための証明書様式）」が掲載されましたが、証明書の記入要領が明らかになっておりませんので、現時点では受験申込に必要な証明書の発行はできかねます。しばらくお待ちください。

参考 成績証明書の請求手続きについて

<https://www.aichi-edu.ac.jp/contact/certificate.html>

お問い合わせ先

国立大学法人愛知教育大学

教務課大学院係 0566-26-2697

愛知教育大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻 公認心理師カリキュラム読み替え一覧

公認心理師附則第2条第1項第1号から第4号までに規定する公認心理師になるための必要な科目の取り扱いについて（文部科学省平成29年9月15日）

法施行日前に大学院の課程を修了した場合又は法施行日前に大学院に入学している場合

①から⑩までの科目をその類似性からⅠ～Ⅲの3つに分類し、それぞれについて定めた科目（合計6科目以上相当）を修めている場合に法附則第2条第1校第1号又は同項第2号に該当するものとする

平成21年度～平成28年度 入学者			
区分	必要科目数	公認心理師カリキュラム 科目名	愛知教育大学大学院教育学研究科 学校教育臨床専攻 科目名
A 心理実践科目	Ⅰ ①を必修として3科目以上	①保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論 (児童)精神医学特論 心身医学特論 障害者生理・病理特論Ⅰ（*障害児教育専攻開講科目）
		②福祉分野に関する理論と支援の展開	障害児臨床特論
		③教育分野に関する理論と支援の展開	認知発達過程特論Ⅰ 認知発達過程特論Ⅱ 教授・学習過程特論Ⅰ 教授・学習過程特論Ⅱ 教授・学習過程特論 教育心理学特論 学校臨床心理学特論 教育集団心理学特論
		④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論
		⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開	人間関係学特論
	Ⅱ 2科目以上	⑥心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ
		⑦心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理面接Ⅰ 臨床心理面接Ⅱ 遊戯療法特論 行動療法特論 心理療法特論 分析的な心理療法特論 イメージ療法特論 学校臨床実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅱ 臨床心理面接演習Ⅰ 臨床心理面接演習Ⅱ
		⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論 臨床心理地域援助特論
		⑨心の健康教育に関する理論と実践	キャリア・ガイダンス研究特論
		⑩心理実践演習	臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅱ
B 実習科目	Ⅲ 450時間以上（※施設の分野及び時間数を問わない）	⑩心理実践演習	臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅱ

注) 公認心理師科目に対応する学校教育臨床専攻の科目を複数履修していても、1科目と数える。

愛知教育大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻 公認心理師カリキュラム読み替え一覧

公認心理師附則第2条第1項第1号から第4号までに規定する公認心理師になるための必要な科目の取り扱いについて（文部科学省平成29年9月15日）

法施行日前に大学院の課程を修了した場合又は法施行日前に大学院に入学している場合

①から⑩までの科目をその類似性からⅠ～Ⅲの3つに分類し、それぞれについて定めた科目（合計6科目以上相当）を修めている場合に法附則第2条第1校第1号又は同項第2号に該当するものとする

平成16～平成20年度 入学者			
区分	必要科目数	公認心理士カリキュラム 科目名	愛知教育大学大学院教育学研究科 学校教育臨床専攻 科目名
A 心理 実践 科目	Ⅰ ①を必修 として3 科目以上	①保健医療分野に関する理論と支援の展開	(児童)精神医学特論 心身医学特論 障害児病理特論（*障害児教育専攻開講科目） 障害児保健学特論（*障害児教育専攻開講科目） 障害者生理・病理特論Ⅰ（*障害児教育専攻開講科目）
		②福祉分野に関する理論と支援の展開	障害児臨床特論 心理・福祉行政特論 教育福祉行政特演
		③教育分野に関する理論と支援の展開	認知発達過程特論 認知発達過程特論Ⅰ 認知発達過程特論Ⅱ 教授・学習過程特論 学校臨床心理学特論 教育集団心理学特論 学校社会臨床特論 学校社会臨床特演
		④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論 非行心理学特論
		⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開	【該当なし】
	Ⅱ 2科目以上	⑥心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ
		⑦心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接Ⅰ 臨床心理面接Ⅱ 遊戯療法特論 箱庭療法特論 行動療法特論 分析的な心理療法特論 イメージ療法特論 イメージ療法特論Ⅰ イメージ療法特論Ⅱ 学校臨床実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅱ
		⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	グループアプローチ特論 地域生活指導特論 地域生活指導特演 家族心理学特論 臨床心理地域援助特論
		⑨心の健康教育に関する理論と実践	キャリア・ガイダンス特論 キャリア・ガイダンス研究特論
	B 実習 科目	Ⅲ 450時間 以上（※ 施設の分 野及び時 間数を問 わない）	⑩心理実践演習

注) 公認心理師科目に対応する学校教育臨床専攻の科目を複数履修していても、1科目と数える。

愛知教育大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻 公認心理師カリキュラム読み替え一覧

公認心理師附則第2条第1項第1号から第4号までに規定する公認心理師になるための必要な科目の取り扱いについて（文部科学省平成29年9月15日）

法施行日前に大学院の課程を修了した場合又は法施行日前に大学院に入学している場合

①から⑩までの科目をその類似性からⅠ～Ⅲの3つに分類し、それぞれについて定めた科目（合計6科目以上相当）を修めている場合に法附則第2条第1校第1号又は同項第2号に該当するものとする

平成12年度～平成15年度 入学者			
区分	必要科目数	公認心理士カリキュラム 科目名	愛知教育大学大学院教育学研究科 学校教育臨床専攻 科目名
A 心理 実践 科目	Ⅰ ①を必修 として3 科目以上	①保健医療分野に関する理論と支援の展開	(児童)精神医学特論 心身医学特論 障害児病理特論（*障害児教育専攻開講科目） 障害児病理特論Ⅰ（*障害児教育専攻開講科目） 障害児病理特論Ⅱ（*障害児教育専攻開講科目） 障害児病理演習Ⅰ（*障害児教育専攻開講科目） 障害児病理演習Ⅱ（*障害児教育専攻開講科目） 障害児保健学特論Ⅰ（*障害児教育専攻開講科目） 障害児保健学特論Ⅱ（*障害児教育専攻開講科目）
		②福祉分野に関する理論と支援の展開	障害児臨床特論 教育福祉行政特論 教育福祉行政特演
		③教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床心理学特論Ⅰ 教育臨床心理学特論Ⅱ 認知発達過程特論 教授・学習過程特論 教育集団心理学特論 学校社会臨床特論 学校社会臨床特演 学級指導特論 学級指導特演
		④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	非行心理学特論
		⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開	【該当なし】
	Ⅱ 2科目以上	⑥心理的アセスメントに関する理論と実践	教育臨床心理査定演習Ⅰ 教育臨床心理査定演習Ⅱ 人格査定演習Ⅰ 人格査定演習Ⅱ
		⑦心理支援に関する理論と実践	心理療法特論 心理療法特論Ⅰ 心理療法特論Ⅱ 心理療法特論Ⅲ 学校カウンセリング特論Ⅰ 学校カウンセリング特論Ⅱ
		⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	グループアプローチ特論 グループアプローチ特論Ⅰ グループアプローチ特論Ⅱ 地域生活指導特論 地域生活指導特演
		⑨心の健康教育に関する理論と実践	キャリア・ガイダンス特論
	B 実習 科目	Ⅲ 450時間以上（※施設の分野及び時間数を問わない）	⑩心理実践演習

注) 公認心理師科目に対応する学校教育臨床専攻の科目を複数履修していても、1科目と数える。